

申 36 号 第2回定期委員会発言及び 組合員の要求に基づく申し入れ 本日提出する！

JR東労働組合高崎地本は、2月27日に第2回定期委員会を開催しました。委員会では、21春闘および各種手当をはじめとした総合労働条件やエルダー社員の労働条件、効率化・外注化施策、要員問題や時間外労働、さらには技術継承や安全問題を中心に議論が行われ、当面する闘いについて意思統一を図ってきました。私たちは、「安全・健康・働きがい」のある職場を創るために、現れた問題点を労使において議論し、解決していくことが必要であると考えています。よって、下記の通り申し入れますので、会社側の真摯な回答を求めます。

申し入れ項目

1. 新型コロナウイルスのワクチン接種について考え方を明らかにすること。
2. 川原湯温泉駅無人化に伴い、多機能トイレ、エレベータの点検・対応について明らかにすること。
3. 東鉄工業出向者（エルダー）が年末年始の公休・特休に当番者指定されていることについて、支社としての認識を明らかにするとともに、エルダー社員には当番者指定を行わないこと。
4. 変革 2027 を踏まえた新たなジョブローテーションの趣旨に基づき、発令行為を行う場合は個人面談の内容を踏まえコミュニケーションを十分に行うとともに、本人希望を尊重すること。
5. 高崎総合訓練センターにおける研修の昼食については、会社負担とすること。
6. 働きやすい職場環境構築の観点から以下の設備の新設・改善を行うこと。
 - ①上尾駅におけるTTS作業員の女性更衣室を設置すること。
 - ②北鴻巣駅のTTS作業員の詰所（休憩室）を設置すること。
 - ③桐生駅のTTS作業員の詰所（休憩室）を設置すること。
 - ④新町駅の風呂及びトイレの老朽化に伴い設備改善を行うこと。

**組合員の不満や不安の声について議論し、
安全・健康・働きやすい職場環境を目指して闘おう！**